

授業改善推進中期プラン 国語〔中学校第2学年〕

昭島市立清泉中学校

学年等		項 目	内 容
令和5年度 第1学年	令和5年10月	学習に関する生徒の実態・課題	○発言が多く、授業に意欲的に取り組む生徒が多い。 ○漢字の小テストに意欲的に取り組む生徒が多い。 ▲自分の考えを文章で表現する力に課題がある生徒が多い。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・根拠を明確にしなが、自分の考えを書く力や与えられた条件に沿って書く力
		具体的な授業改善の方策	・授業開始の5分程度を、漢字の復習時間とする。 ・自分の意見をまとめる際に、自分の体験や経験を交えて書けるよう、具体的な例を多く示すなどの工夫をする。
	年度末	第1学年における生徒の達成度と第2学年に向けての課題	・授業に対して意欲的に取り組む生徒は多いが、家庭学習の定着がなされていないため、知識が定着していない。説明文などの文章問題は解ける生徒が多いが、語句に関する暗記分野の部分が疎かになっている現状がある。 ・2年生に向けての課題は、自ら学んだ内容を繰り返し復習し、家庭学習を定着させる。
令和6年度 第2学年	令和6年10月	学習に関する生徒の実態・課題	▲発言が多く、授業に意欲的に取り組む生徒が多いが、クラスによって挙手などの数が違う。 ▲家庭学習が身に付いていないため、小テストなど諦める傾向がある。 ▲漢字や語句に関して、自ら日々行う学習が定着していないため定期テストでは結果に繋がらなかった。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・漢字の読み書きと語句について力を入れ表現力を身に付けさせ、自分の意見を自分の言葉で表現し発表する。 ・知識以外の読解の問題に関しては、自ら練習問題を多く解かせ単元ごとの理解を深めさせる。
		具体的な授業改善の方策	・ワークだけではなく自作のプリントを単元ごとに配付し、家庭学習を定着させる。 ・定期的に学習プリントやワーク、漢字ノートを集め、生徒の進捗状況を把握し、その都度生徒に合った学習プリントなどを提供していく。
	年度末	第2学年における生徒の達成度と第3学年に向けての課題	
令和7年度 第3学年	令和7年10月	学習に関する生徒の実態・課題	
		教科で身に付けさせたい資質・能力	
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	中学校3年間のまとめ	